

PALAI
DES
PAPES

訪問ガイド 2026

アヴィニョン教皇宮 & アヴィニョン橋

アヴィニョン・から 19.50€

<https://palais-des-papes.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスperiences

起源 & 歴史

中世教皇権力の頂点

GOOGLE **4.5** ★★★★★ 53 356 レビュー

TIQETS **4.4** ★★★★★ 2019 レビュー

アヴィニオン教皇宮は、**1317**年に建設が始まったヨーロッパ最大のゴシック建築です。ローヌ川の左岸にあるドムスの岩盤の上に築かれ、中世の教皇権力の象徴として君臨しました。ベネディクト12世が要塞的な旧宮殿を建て、その後クレメンス6世がより豪華な新宮殿を追加することで、この記念碑は二重の建築的進化を遂げました。

14世紀には、西キリスト教世界の中心地となり、歴史的なコンクラーベで**6**人の教皇が選出されました。シモーネ・マルティーニやマッテオ・ジョヴァネッティといったシエナ派の偉大なフレスコ画家たちが装飾を手掛け、国際ゴシック様式の完成形を体現しています。また、ギヨーム・ド・

マシヨーやフィリップ・ド・ヴィトリーなど、音楽史に残る作曲家たちもここで活躍しました。

教皇図書館は当時ヨーロッパ最大規模の2,000冊の蔵書を誇り、人文主義の創始者ペトラルカを含む学者たちを引きつけました。宮殿の広大さは教会組織の中央集権化を可能にし、教廷の人員は500人に増加し、さらに1,000人以上の世俗官僚もここで働きました。

しかし、1362年にウルバヌス5世がローマへ戻り、1376年にグレゴリウス11世が追隨したことで、アヴィニオン時代は決定的に終わりました。その後も大分裂期を経て、現在は世界遺産として認定され、年間77万人以上の訪問者を迎えるフランス屈指の観光名所となっています。

体験

入口をくぐった瞬間、巨大な石造りの壁と高い天井が訪れる者を圧倒します。国際ゴシック様式の荘厳な空間では、自然光が窓から差し込み、フレスコ画の色彩を鮮やかに浮かび上がらせます。静寂の中に漂う空気は、14世紀の精神的雰囲気をそのまま伝えており、歴史の深淵へと誘います。

階段を上がると、視界が開け、アヴィニョン市街地とローヌ川の絶景が広がります。狭い通路を歩く中で感じる緊張感と、礼拝堂での安堵感が交互に訪れ、単なる見学を超えた教育的没入体験となります。WebAppを活用すれば、音響や彫刻の意味まで理解でき、訪問は完全な時間旅行に変貌します。



訪問の準備

実用的な情報

住所 アヴィニョン旧市中心部・バス：パレ停留所（1番、2番、3番系統）から徒歩2分。	営業時間 季節により変動します（2026-2027年）。正確な訪問時間帯については公式サイトをご確認ください。
料金 年齢に応じて子供は無料（バリエーションを確認してください）。{promo}。	所要時間 標準的な25室のコースには1時間30分から2時間を見込んでください。秘密の庭園や橋を含む場合は30分を追加してください。テーマ別ガイドツアーは約1時間30分かかります。
写真撮影 すべての部屋でフラッシュなしでの写真撮影は許可されています。狭い通路の通行を妨げる大型三脚は避けてください。最高の外観写真はポン・サン＝ベネゼから撮れます。	対象者 テーマ別ガイドツアーは11歳以上が対象です。自由見学コースは、自立して行動できる子どもがいる家族に適しています。中世建築には階段があり、抱っこできない非常に小さい子どもには推奨されません。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

	メトロ : 中央駅 – 12 min à pied 中央駅 (8 min)・アヴィニョンTGV (15 min)
	バス : オーバネル – 5 min à pied 中央駅 (12 min)・アヴィニョンTGV (23 min)
	車 中央駅 (6 min)・アヴィニョンTGV (15 min)
	自転車 中央駅 (6 min)・アヴィニョンTGV (19 min)

LOCALISATION

Où se trouve アヴィニョン教皇宮 & アヴィニョン橋？



📍 Place du Palais — 84000 アヴィニョン

🌐 43°57.051' N, 4°48.462' E

組織

25室の見学ルート

地下・一階（要塞部分）

ベネディクト12世の旧宮殿は岩の上に築かれた真の要塞です。防御のための厚い壁と狭い通路が特徴で、中世の軍事戦略を理解できます。ここから上層部への階段が始まり、建築的二重性の基礎を形成しています。

二階・三階（居住区）

教皇の私邸や中世のキッチンが含まれる居住区です。日常生活の様子を伝える家具や調度品が展示されており、14世紀の貴族生活に触れられます。各室には独自の建築詳細があり、案内表示で詳しく説明されています。

四階・五階（礼拝堂・庭園）

大礼拝堂（グラン・シャペル）やコンクラーベの間など、最も荘厳な空間が広がります。シエナ派の有名なフレスコ画が天井や壁を装飾し、卓越した音響空間を提供します。最上階からは秘密の庭園やアヴィニョン市街地のパノラマビューが楽しめます。

アクセシビリティ

🚼 車椅子アクセス

中世建築の構造により、アクセスが一部制限されています。階段が多く、床も不整地です。



ファミリー向け

ガイド付きツアーは11歳以上におすすめ。自立した子どもにはフリーパスコースが適しています。



オーディオガイド

フランス語, 英語



必見スポット

選択

絶対に外せない見どころ

01 シモーネ・マルティーニ クレメンティン礼拝堂

大礼拝堂（グラン・シャペル）

クレメンス6世が建てたこの礼拝堂は、国際ゴシック様式の完成形を示しています。天井の高い空間は卓越した音響を持ち、中世音楽生活の中心地でした。フレスコ画の色彩と建築の調和は圧巻です。

💡 ギヨーム・ド・マショーがここで有名なミサ曲を作曲し、クレメンス6世に賞賛された場所です。

02 教皇選出室

コンクラーベの間

1335年から1394年の間に6人の教皇が選出された歴史的な場所です。厳粛な雰囲気の中で、西キリスト教世界の運命が決まりました。壁面には当時の装飾が残っており、権力闘争の舞台を想像させます。

💡 各コンクラーベは教会史に消えぬ印を残し、アヴィニョン教皇時代の公式の座となりました。

03 シモーネ・マルティーニ 大礼拝堂

シモーネ・マルティーニのフレスコ画

シエナ派の巨匠によるこれらのフレスコ画は、宗教的物語を生き生きと描いています。細部まで丁寧に描かれた人物像と背景は、当時の芸術水準の高さを示しています。WebAppで詳細な解説を読むことをお勧めします。

💡 マルティーニはクレメンス6世の宮廷画家として、国際ゴシック様式の発展に大きく貢献しました。

04 居住区

教皇の私邸

教皇たちの日常生活を送った部屋です。暖炉やベッドなどの調度品が再現されており、中世の貴族生活の一端を覗けます。窓からの景色も美しく、ロマンチックな雰囲気を感じられます。

💡 ペトラルカを含む学者たちが、この近くの図書館で知的生活を送っていました。

05

庭園

秘密の庭園

城壁の奥に隠れた緑の楽園です。都市部の喧騒から離れた静かな空間で、中世の庭園の美しさを楽しめます。植物の配置が巧みで、季節ごとの変化が見事です。

💡 家族連れに特に人気で、予想外の緑の楽園として知られています。

06

サービスエリア

中世のキッチン

宮廷料理が作られた場所です。大きな釜や調理器具が展示されており、当時の食事文化を理解できます。煙突の構造も興味深く、機能美を感じさせます。

💡 教皇の食事は非常に豪華で、1,000人以上の官僚のために毎日用意されました。

07

橋

ポン・サン＝ベネゼ

ローヌ川にかかる歴史的な橋です。現在残っているアーチはわずかですが、かつては全長900m以上ありました。日の出や日没時に教皇宮と一緒に撮影するのがベストです。

💡 「アヴィニョンの橋」という童謡で世界的に有名になりました。

08

書庫

教皇図書館

当時ヨーロッパ最大規模の2,000冊の蔵書を収めた場所です。人文主義の創始者ペトルルカなどが利用しました。書籍の保存状態や装飾は、知識に対する教皇たちの敬意を示しています。

💡 美しい文学を愛する学者たちを引きつけ、活発な知的生活を結晶化させました。

アドバイス

完璧な訪問のためのヒント

TIMING

予約された時間帯の開門と同時に到着してください。学校団体は通常11時30分以降に到着するため、朝は移動がスムーズで、フレスコ画を鑑賞するのに最適な自然光が得られます。

PARCOURS

論理的な見学ルートは、ベネディクト12世の要塞である旧教皇宮から始まり、その後、より豪華な新教皇宮へ上がるのが一般的です。案内表示に従って何も見逃さず、建築的進化を理解してください。

PAUSE

マルシェ・オ・アールで本格的なプロヴァンス風ランチを楽しんでください。新鮮な食材、地元のチーズ、タルト・タタンなどの地域の特産品を味わえます。

AUDIOGUIDE

WebApp「Les Clefs du Palais」を利用してください。インタラクティブなマルチメディアコンテンツで訪問を豊かにし、単なる見学を14世紀への完全な教育的没入体験に変えます。

BILLET

「教皇宮 + 橋 + 庭園」のセットチケットが、ご訪問の正確な日付と希望する時間をカバーしていることを確認してください。臨時展覧会が含まれているかもチェックしましょう。

PHOTO

教皇宮の最高の写真は、サン＝ベネゼ橋から、特に日の出や日没時に撮りましょう。斜めからの光はゴシック様式の城壁を際立たせ、ファサードに劇的な影を生み出します。

ENFANTS

テーマ別ガイドツアーは11歳以上が対象です。自由見学コースは、自立して行動できる子どもがいる家族に適しています。抱っこできない非常に小さい子どもには推奨されません。

CONFORT

快適な靴は必須です。ハイヒールやオープントウの靴は絶対に避けてください。中世の不整地では硬い靴では移動が困難になるため、柔軟なスニーカーを用意してください。

よくある質問

よくある質問

「パレ + 橋 + 庭園」チケットと「教皇宮殿」単独チケットの違いは何ですか？

組み合わせチケットには、25室に加えてアヴィニョン橋と教皇庭園への物理的なアクセスが含まれます。単独チケットは屋内コースと庭園のみをカバーします。3時間以上ありすべてを見たい場合は完全なプランを選択し、2時間の短い訪問であれば単独チケットで十分です。

教皇宮殿を訪問するために事前に時間帯を予約する必要がありますか？

オンライン予約は特に繁忙期（7月～8月）と週末には強く推奨されます。待ち時間なしの入場を保証し、正確な時間を指定できます。閑散期の平日は現地で購入可能ですが、空き状況が限られる場合があります。

教皇宮殿を含む観光パスはありますか？

はい、アヴィニョンシティパスには宮殿、橋、庭園に加え、他の9つの記念碑への割引付きアクセスが含まれます。2～3日間で複数の場所を訪問する予定がある場合に価値があります。宮殿だけの単発訪問の場合、パスよりも直接チケットの方が経済的であることが多いです。

予約をキャンセルまたは変更できますか？

条件はチケットの種類と予約時期によって異なります。ほとんどのオンラインチケットは訪問の24時間前まで無料で変更可能です。一部のプロモーション価格は返金不可であるため、確認前にチケットの特定の条件を必ずご確認ください。

教皇宮殿とアヴィニョン橋を訪問するにはどれくらいの時間がかかりますか？

行列と説明板の読み込みを考慮し、標準的な25室のコースには1時間30分から2時間を見込んでください。組み合わせプランの場合は橋と庭園に30分を追加してください。テーマ別ガイドツアーは約1時間30分から1時間45分かかります。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

最大のゴシック建築

この宮殿は、ヨーロッパで中世最大のゴシック建築として認定されています。当時最高のフランスの建築家たちの共同作業の成果であり、国際ゴシック様式の完成形を体現しています。この独特の規模は、例外的な建築的証言となっています。

アヴィニョンで選出された6人の教皇

1335年から1394年にかけて、歴史的なコンクラーベにおいてこの宮殿で6人の教皇が選出されました。この場所は、アヴィニョン教皇時代を通じて西キリスト教世界の公式の座でした。各コンクラーベは教会史に消えぬ印を残しました。

ヴィトリのArs Nova

クレメンス6世の招待客であったフィリップ・ド・ヴィトリは、クレメンティン礼拝堂で彼の音楽的Ars Novaの全貌を示すことができました。大聖堂は作曲家、歌手、音楽家を魅了しました。ここでもクレメンス6世はギヨーム・ド・マシヨのノートルダムミサ曲を賞賛しました。

ローマへの困難な復帰

その規模にもかかわらず、教皇たちがローマへ戻ることを決定したとき、宮殿は陳腐化しました。ウルバヌス5世は1362年4月30日にアヴィニョンを離れ、グレゴリウス11世は1376年9月13日に続きました。この復帰は、教皇のアヴィニョン時代の決定的な終わりを意味しました。

博物館周辺

教皇宮周辺は、アヴィニオン旧市街の心臓部であり、魅力的なスポットが点在しています。ノートルダム・デ・ドム大聖堂は町を支配するゴシックの傑作で、ベルヴェデールからはローヌ川と教皇宮の絶景が楽しめます。ラピダール博物館では、中世およびローマ時代の優れた彫刻コレクションを XIIe siècle の建築フレームの中で鑑賞できます。

食事は、新鮮な食材や地元のチーズ、タルト・タタンなどを味わえるマルシェ・オ・アールで本格的なプロヴァンス風ランチを楽しむのがおすすめです。訪問後には、ポン・サン＝ベネゼとそのアーチを直接眺めながら、心地よい川辺の散策路でリラックスしたひとときを過ごせます。夏には古代劇場でも公演が行われ、文化体験を豊かにしてくれます。

アヴィニオン教皇宮は、単なる建物ではなく、中世ヨーロッパの魂そのものです。石の静寂の中で感じられる荘厳さは、訪れる者の心に深い印象を残します。この場所を体験することは、歴史の証人となることであり、忘れがたい感動をもたらします。ぜひ、自分の目でこの壮大な遺産をご覧ください。